

伊豆ほけんだより 7月

令和6年7月2日 伊豆の国特別支援学校伊豆松崎分校 保健室

7月1日に藤邊助産師さんをお招きして「命のつながり」について保健指導を行いました。
助産師さんの実体験をもとに、お話ししていただき、胎児のエコー写真や出産時の映像なども見せてもらい、自分の命、つながってきている命について考える良い機会になったと思います。

隣の方が元気であるのか、握手して確かめてみました。次に自分の脈も確認してみました。



藤邊助産院の藤邊久美助産師さん。赤ちゃんが無事に産まれるようにお仕事をしています。出産時はお母さんよりも先に赤ちゃんに触ります。



聴診器で自分の心臓の音も聞いてみました。赤ちゃんの心臓はお母さんのお腹の中で最初からずっと動いています。



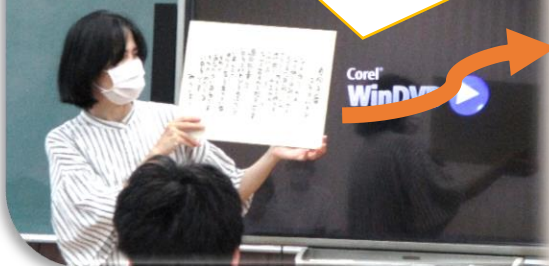
【生徒からの感想】

・赤ちゃんのへその緒がお母さんにつながっていて、赤ちゃんの命を守るためにあるということがわかりました。



産まれてすぐの赤ちゃんの写真を
見せてもらいました。まだ透明のへ
その緒がついていて、へその緒がお
母さんとつながっていて、お腹にい
る間、へその緒を通じて栄養をもら
っていることに気づきました。

赤ちゃんを産んで育てるだけ
がバトンではなく、そういう人
たちを応援するなど、それぞれ
の役割でバトンをつなぐことが
出来るといいですね。



松崎町役場と河津町役場に御協力い
ただき、乳幼児のお母さんの生の声を
撮らせていただきました。生徒が考え
た質問に答えていただきました。



【動画を見ての感想】

- ・とても大切に育てて
いるなと思いました。
- ・皆さん、大変そうだ
けど、ニコニコしてい
ました。



赤ちゃん人形を抱
っこしたり、妊婦体
験をしました。



自分の番
いのちのバトン

父と母で二人
父と母の両親で四人
そのまた両親で八人
こうしてかぞえてゆくと
十代前で千二十四人
二十代前では一百万人
なんと百万人を越すんです

過去無量の
いのちのバトンを受けついで
いまここに
自分の番を生きてくる
あなたがいのちです
それがわたしの
いのちです
みつと

